

令和2年度第1回かわさきパラムーブメント推進フォーラム 次 第

日時：令和2年10月8日（木）

14時00分～16時00分

会場：川崎市役所 第3庁舎18階 大会議室

- 1 あいさつ
- 2 かわさきパラムーブメントにおける主な取組
・・・資料1
- 3 英国ホストタウンにおける主な取組
・・・資料2、3
- 4 かわさきパラムーブメント推進協議会について
・・・資料4
- 5 その他

【資 料】

- ・ 座席表
- ・ かわさきパラムーブメント推進フォーラム委員等名簿
- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議開催運営等要綱
- ・ **資料1** かわさきパラムーブメントにおける主な取組について
- ・ **資料2、3** 英国ホストタウンにおける主な取組について
- ・ **資料4** かわさきパラムーブメント推進協議会の設立について
- ・ 別紙資料一式

令和2年度第1回かわさきパラムーブメント推進フォーラム

座席表 (第3庁舎18階大会議室)

オリ・パラ室職員

議事録作成業者

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

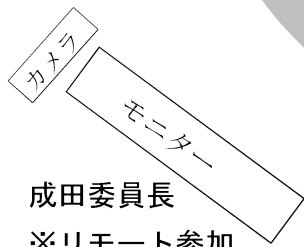
傍聴席

傍聴席

傍聴席

オリ・パラ室職員

オリパラ室担当課長 (事業調整)
オリパラ室担当課長 (エンゲージ)
オリパラ室担当課長 (事前キャンプ)
オリパラ室担当課長 (事前キャンプ)
成田委員長 ※リモート参加



パソコン

瀬戸山委員
須藤委員
杉山委員
栗山委員
草壁委員
菊地委員
小倉委員
金子様 (大塚委員代理)
遠藤委員

集音マイク

中森顧問
市長
加藤副市長
市民文化局長
オリパラ室長

教育委員会 学校教育部 担当部長
コミュニティ推進部長
市民文化 振興室長
市民スポーツ室長
オリ・パラ室 課長補佐
オリ・パラ室 担当係長
オリ・パラ室 担当係長

中澤委員
横島委員
山崎委員
湯浅委員
土岐委員
丹野委員
多田委員

出入口

出入口

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 委員名簿

令和2年4月1日現在

●共同委員長

氏名	役職等
ふくだ のりひこ 福田 紀彦	川崎市長
なりた まゆみ 成田 真由美	パラリンピアン 川崎市市民文化大使

●顧問

(五十音順)

なかもり くにお 中森 邦男	日本パラリンピック委員会 事務局長
ほそくら こうじ 細倉 浩司	公益財団法人日本オリンピック委員会 事務局長

委員

(五十音順)

えんどう けん 遠藤 謙	株式会社サイボーグ 代表取締役社長
おおつか くんぺい 大塚 訓平	株式会社オーリアル 代表取締役
おぐら けいこ 小倉 敬子	公益財団法人かわさき市民活動センター 理事長
きくち ただし 菊地 正	特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF 副理事長
くさかべ ごろう 草壁 悟朗	川崎商工会議所 会頭
あしやま やすこ 栗山 八寿子	市立長沢中学校 校長
すぎやま なおみ 杉山 尚美	株式会社ぐるなび 理事
すどう しんじ 須藤 シンジ	特定非営利活動法人ビーブルデザイン研究所 代表理事
せとやま しょうじ 瀬戸山 正二	有限会社オフィスブライヤ 代表取締役
たが しょうけん 多田 昭彦	公益財団法人川崎市文化財団 理事長
たんの のりかず 丹野 典和	公益財団法人川崎市スポーツ協会 事務局長
どき かおし 土岐 一利	株式会社チッタエンタテインメント 取締役
なかざわ まこと 中澤 信	株式会社バリアフリーカンパニー 代表取締役社長
やまぎき りょう 山崎 亮	株式会社studio-L 代表取締役 (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 街づくり・持続可能性委員会 委員
ユヅマ マチミ 湯浅 真奈美	ブリティッシュカウンシル アーツ部長
よこしま まさし 横島 正志	公益財団法人川崎市身体障害者協会 事務局長

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議開催運営等要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議（以下「会議」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市長は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、誰もが暮らしやすく、多様な主体の協働による新しい社会の構築をめざす「かわさきパラムーブメント」の基本理念の具現化にあたり、次に掲げる事項について、会議委員の意見を求める。

- (1) スポーツ・健康
- (2) ダイバーシティ（多様性）
- (3) 文化
- (4) 地域活動・ボランティア
- (5) 社会・経済
- (6) エンターテイメント
- (7) 福祉
- (8) おもてなし
- (9) その他、市の発展に資する事柄

(会議の構成者)

第3条 会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体代表者
- (3) 市民

(開催期間)

第4条 会議の開催期間は、平成27年10月1日から平成33年3月31日までの期間とし、必要に応じて開催することとする。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室において処理する。

附 則

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントの主な取組について①

1 商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業 バリアフリー情報発信事業

実施目的

2つの事業を統合することで、市内店舗のバリアフリー状況に係る情報発信を拡大し、誰もが店舗を利用しやすいまちを目指していく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

[現状]

【店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業】

対象：市内店舗（飲食店、小売店他）

概要：市内店舗がソフト面又はハード面のバリアフリーに対応していることをステッカーの掲出、本市HPでの掲載等を通じて発信

現在の発信店舗数：市内754店舗

【バリアフリー情報発信事業】

対象：市内飲食店（ぐるなび加盟店）

概要：ぐるなびと共同でバリアフリー調査、本市HPやぐるなびHP、アクセラブル・ラボHPでの掲載を通じて、市内飲食店のバリアフリー状況（ハード面）に係る情報（インフォシート）を発信

現在の発信店舗数：飲食店 62店舗

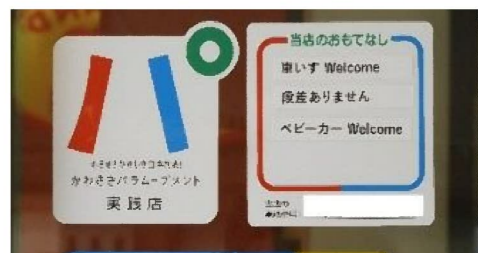
統合

[今後]

- ・2つの事業を統合し、「店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業」に係る本市HPに、市内店舗のバリアフリー状況に係る情報発信の一覧化を図る。
- ・ハード面だけでなく、「点字メニューあります」といったソフト面も含めたバリアフリー状況に係る調査を、基本的に全業種の市内店舗が自ら簡便に実施できる「バリアフリー状況確認キット」を作成し、広く市内店舗にバリアフリー状況調査、情報の発信を促していく。

事業スケジュール

令和2年10月から「バリアフリー状況確認キット」の作成を行い、令和3年2月頃から「キット」の配布を開始。



ステッカー



インフォシート（現行）

2 個人型トップアスリート助成制度

実施目的

本市にゆかりのある選手が世界大会等で活躍し、その活躍が市民に感動と喜び、夢を与えることで、シビックプライドを醸成するとともに、スポーツへの関心を高めることを目的として、令和2年7月に創設。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー⑤誰もがスポーツ運動に親しんでいるまち

レガシー⑨知名度・プレゼンスが高まった川崎

制度概要 別紙1募集要領参照

申請状況 6競技9名（令和2年10月に助成対象者が決定）

3 感覚過敏の方を対象としたバリアフリー化事業

実施目的

感覚過敏の特徴を持つ方が気軽に買い物やスポーツ観戦等ができる環境を整えることに加え、そうした特徴の認知度を高めることを目的とした取組を実施。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

特定の時間帯のみ店舗の音や光を軽減させる「クワイエットアワー」の実施や、光や音を軽減することのできる「カームダウン・クールダウンスペース」の設置といった取組を広げていく。

R2年度の取組

とどろきアリーナにカームダウン・クールダウンスペースを設置。

取組拡大に向けて、市内の大規模商業施設における実証実験を実施予定。



カームダウン・クールダウンスペース（とどろきアリーナ）

4 心のバリアフリーに係るエピソード発信事業

実施目的

市民が自ら実践、体験、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードの発信を通じて、発信者及び受信者の「心のバリアフリー」に対する理解の深化及び実践等への行動変容につなげていく。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

市民が実践した、受けた、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードを募集し、市HPで「心のバリアフリーエピソード集」として1ヶ月ごとに発信する。また、四半期ごとに、特に新たに気付かされた「心のバリアフリー」エピソードについて、市HP上で特出しする。

（エピソード例）

- ・車いすに乗って段差で困っているとき、後ろからサポートしてもらえて嬉しかった。
- ・聴覚障害のある人に対し、筆談ボードを使って会話をしてコミュニケーションが円滑にできた。
- ・飲食店において、外国人向けに外国語表記のあるメニューを用意されているのを見た。

事業開始時期

令和2年10月から事業開始予定



めざせ! やさしき日本代表!

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントの主な取組について②

5 庁内職員を対象とした心のバリアフリーに関する研修

実施目的

職員一人ひとりが心のバリアフリーについて掘り下げ、自分のこととして考えることで、庁内におけるかわさきパラムーブメントの理念を浸透させるために開催。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～の形成へ

【幹部級職員研修】

実施概要

副市長及び局長級職員を対象として、「心のバリアフリー」を体現するための「障害の社会モデル」の理解や「合理的配慮の提供」の考え方などについての研修を実施。

講師 東京大学大学院教育学研究科バリアフリー教育開発研究 星加准教授、飯野特任教授

【職員向け研修】

実施概要

窓口対応の多い部署の職員や施設を所管している部署の職員を対象とした、ユニバーサルマナー検定3級取得の研修を開催。計148名が受講。

R2年度の取組 引き続き、局長級及び職員向けの研修を実施予定



職員向け研修の様子

6 パラムーブメントアクション（かつてにおもてなし大作戦）

実施目的

市民活動や地域活動へ受動的に参加する人や潜在意欲がある人などを対象に、かわさきパラムーブメントや英国おもてなしに関する自身の「やりたいこと」をマイプロジェクトとして実践することを通じて、かわさきパラムーブメントの理念浸透を図る。

⇒かわさきパラムーブメントの目指すすべてのレガシー形成へ

その中でも特に3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑥多様な主体が地域づくりに貢献しているまち

レガシー⑧来訪者が「行って良かった」と思えるまち

実施内容

R元年度は、初めて参加する方向けの「スタートアップ講座」とH30年度から受講している方も参加した「ステップアップ講座」に分け、それぞれ4会場で実施。

講座を踏まえ、全53のマイプロジェクトが実践される予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、21プロジェクトのみ実践。※概要について別紙2,3参照

(令和2年2月22日鹿島田会場、同23日武蔵新城会場は実施。同29日溝の口会場、3月1日新百合ヶ丘会場及び同22日交流イベントは、中止。)



R1年度マイプロジェクトの様子



R2年度の取組

「かつてにおもてなしテレビ」と題し、かわさきパラムーブメントや英国代表チーム事前キャンプをテーマにしたマイプロジェクトのお披露目を、令和3年1月23、24日にオンラインイベントで配信予定 ※詳細について、別紙4参照

7 ブリティッシュ・カウンシルとの連携事業

実施目的

本市のホストタウンである英国の公的な国際文化交流機関ブリティッシュ・カウンシルと連携し、あらゆる人が音楽に親しみ、創造性を発揮できる社会の実現を目的に実施。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

【ドレイク・ミュージックによる「音楽、障害、テクノロジーをつなぎ、障害のある人の音楽へのアクセスを向上するプロジェクト」】

実施概要

障害のある人の音楽活動の可能性を拡大する取組を推進している、ドレイク・ミュージックのファシリテーションのもと、障害のあるなしに関わらず、誰もが音楽に親しめる環境を構築するために市内の音楽家を対象として、ファシリテーター育成トレーニングワークショップを実施し、「障害の社会モデル」の理解を深めた。その後、トレーニングワークショップ参加者と多様なニーズをサポートするテクノロジーを活用した楽器をつくるワークショップを実施。

日程 (令和元年)	会場	内容	参加者
12月2日(月)	カルッツかわさき アクトスタジオ	ファシリテーター育成トレーニング(1日目)	音楽家(約14名)
12月3日(火)	カルッツかわさき アクトスタジオ	ファシリテーター育成トレーニング(2日目)	音楽家(約14名)
12月3日(火)	中央支援学校	特別支援学校での音楽づくりワークショップ①	音楽家(約13名) 生徒(38名)
12月4日(水)	田島支援学校 田島校	特別支援学校での音楽づくりワークショップ②	音楽家(約3名) 生徒(4名)
12月5日(木)	カルッツかわさき 大会議室	障害の社会モデルトレーニングワークショップ	テクノロジー関係者、音楽家など(7名)
12月6日(金)	田島支援学校 桜校	特別支援学校での音楽づくりワークショップ③	音楽家(約6名)、 生徒(8名)
12月7日(土)	カルッツかわさき 大会議室	DIY楽器づくりワークショップ	テクノロジー関係者、障害のある音楽家など(14名)



12月2日のトレーニング



12月7日のワークショップ

R2年度の取組

事業内容を調整中



めざせ!やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントの主な取組について③

8 インクルーシブなかわさきハロウィン開催の支援

実施目的

「かわさきパラムーブメント」の考え方を「カワサキハロウィン」に取り入れダイバーシティへの取組を進める。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

R2年度の取組

史上初となるオンラインパレードを実施予定。
オンライン実施により、これまで会場に行くことが困難であった方も参加できる“参加したい誰もが参加できるイベント”が実現。
開催に伴い、障害当事者が出演をする告知用CM動画を作成し、広報を行う。



9 助けあいアプリ「May ii」(メイアイ)

実施目的

街中での移動に関して困っている人とサポート可能な人をマッチングするアプリを活用することで、移動困難な方の行動範囲を広げることや、市民の行動変容を促すために実施。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

助け合いアプリ「May ii」(メイアイ)の認知度向上及び利用促進のため確認書を大日本印刷株式会社と締結し、市内5ヶ所を使用エリアとした試行実施を行う。

※詳細について、別紙5参照

試行実施エリア

川崎駅周辺、武蔵小杉駅周辺、武蔵溝ノ口駅周辺、
登戸駅周辺、新百合ヶ丘駅周辺
※エリア詳細は、別紙6参照



ブースでの体験の様子
(かわパラ2019)

10 かわさきパラムーブメント関連イベント

かわパラ2020

パラスポーツや障害への理解促進、かわさきパラムーブメントの理念浸透を目的としたイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期及び中止となった。

- ・かわパラ2020 (ラゾーナ川崎で開催)
令和2年8月23日に開催予定であったが、令和3年3月7日に延期
- ・かわパラ2020in中部及び北部
令和2年9月以降に中原区及び多摩区で開催予定であったが中止

かわさきパラコンサート2020

誰もが音楽等を楽しめる機会を通じて、お互いを理解・尊重し、誰もがチャレンジする勇気と行動力を育むことを目指すことを目的として一昨年より実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今年度は中止。

11 小学生を対象としたバリアフリーマップ作成

実施目的

小学生自らがバリアフリーマップの作成に携わることで、パラムーブメント推進への機運醸成及び心のバリアフリーの推進を図る。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

オリンピック・パラリンピック経済界等協議会バリアフリー部会の幹事会社として、共生社会ホストタウンを中心にバリアフリーマップづくりを先導している株式会社富士通と連携して実施。小学生を対象とし、パラリンピアンによる講話を実施後、グループで分かれて、実際に車いすを使用しながら、施設内の車いす利用者にとってバリアとなるような場所、バリアが解消されている場所などを確認。確認後、既存の地図に情報を落とし込み各グループで作成したマップを発表。

開催日時 令和2年1月30日 8:30～12:00

開催場所 等々力陸上競技場

参加者 中原小学校4年生 120名

講話者 山口 貴久氏 (ウィルチェアラグビー リオパラリンピック代表)



山口氏による講話



調査の様子



発表の様子

12 心のバリアフリーシンポジウム

実施目的

国が目指す「共生社会の実現」に向けて、先導的共生社会ホストタウンの取組を通じて、「心のバリアフリー」のきっかけとなることを目的として開催。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

本市共催のもと、先導的共生社会ホストタウンの代表者による心のバリアフリーをテーマにしたパネルディスカッションと各自治体による取組の発表を中心とした分科会を開催

主催 JT B株式会社

開催日時 令和2年1月24日 12:30～16:45

開催場所 高津市民館

参加自治体 三沢市(青森県)、飯塚市(福岡県)

来場者 約100名

※詳細について、別紙7チラシ参照



シンポジウムの様子



分科会の様子

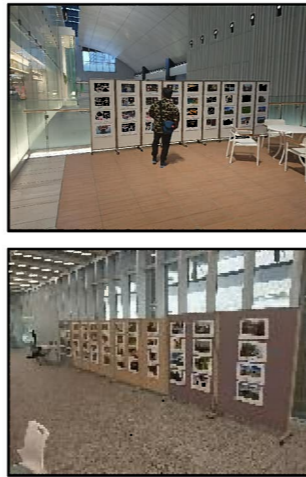
英国ホストタウンとしての主な取組①

広報・プロモーションの取組

機運醸成に向けた巡回写真展の開催

令和元年11月23日（土）に高津市民館で開催した「GO GB英国フェスティバル～英国をもっと好きになろう～」で制作した英国代表選手及び英国ゆかりの文化・風景の写真パネルを活用し、さらなる英国代表チームの応援機運を醸成することを目的に各区を巡回する写真展を実施。※詳細について、別紙8参照

区名	日程	会場
川崎区	1/18(土)～1/26(日)	アトレ川崎4階 コモレビテラス
幸区	1/27(月)～1/31(金)	幸区役所1階 ロビー
中原区	2/10(月)～2/25(火)	中原市民館1階 ロビー
高津区	1/31(金)～2/10(月)	高津区役所1階 ロビー
宮前区	3/9(月)～3/23(月)	宮前区役所2階 ロビー
多摩区	3/23(月)～3/31(火)	多摩区役所1階 ロビー
麻生区	2/25(火)～3/6(金)	麻生区役所2階 ロビー



英国代表チーム川崎キャンプ推進協議会

令和元年10月28日に設立した「英国代表チーム川崎キャンプ推進協議会」は、現在40の企業・団体等が会員として加入。事前キャンプに合わせて行う英国代表チームに対するおもてなしのアイデアを募集し、実施に向けて調整中。

【事業計画】

- ・英国代表チーム川崎キャンプの運営及び選手団との交流に関する川崎市ホストタウン事業への協力
- ・英国代表チームの東京2020大会での活躍に向けた応援及び広報における川崎市エンゲージメント事業への協力
- ・協議会を通じたキャンプ施設、イベント等におけるおもてなし
- ・その他協議会の目的達成に必要な事務及び事業に関すること

今後の取組

・新たな広報グッズの製作

事前キャンプ日程の確定に伴い、新たに「GO GB」及び川崎市英国事前キャンプPR大使の「きかんしゃトーマスとなかまたち」を活用したグッズを製作して活用する。



チラシ・ポスター

のぼり旗

シール・ステッカー

サンバイザー

ボールペン

・シティドレッシング※ 等による広報の強化

事前キャンプのさらなる認知度向上及び機運醸成に向けて、シティドレッシングやイベント等へのブース出展など多くの市民の目に触れる機会を捉え、低コストかつ高効果が見込まれる広報を実施。



※シティドレッシング
大型ポスターやフラッグ等を掲出して街全体を装飾すること。

・市民との連携による取組の実施

市民と一体になった英国代表チーム応援の実現に向けて、市民の参加による広報グッズ等を製作・活用。

英国事前キャンプPR大使「きかんしゃトーマスとなかまたち」等を活用した広報

・川崎フロンターレとの連携

令和2年シーズンのトレーニングマッチ（練習試合）で着用するユニフォームとして、英国代表チームの応援機運醸成に向けて、英国からインスピレーションを受けたチェック柄、右袖には「きかんしゃトーマスとなかまたち」が配置されたデザインが採用された。



・駅・公共交通機関等における広報

令和2年3月に、多くの市民の目に触れる市内主要駅構内をはじめ、JR南武線の車内や市内を運行するバスの車内外を活用した広報を実施。※詳細について、別紙9参照



・JR南武線における広報

令和2年3月より、JR南武線において事前キャンプ実施までの長期間掲出による広報効果を高めるため、ヘッドマーク（1編成）の設置及び側面ラッピング（3編成）を実施。



英国ホストタウンとしての主な取組②

事前キャンプ受入れ準備

英国代表チーム川崎キャンプサポーター

1 登録状況

・令和元年7月1日～9月2日の期間、事前キャンプで活動するボランティア「英国代表チーム川崎キャンプサポーター」を専用ウェブサイトで募集、1,601名の応募の中から、9・10月の面談会を経て、11月末にサポーター227名を登録。

世代別内訳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	4.8%	6.5%	17.0%	30.0%	23.9%	13.5%	4.3%

男女内訳：男性 86名 (37.9%)、女性 141名 (62.1%)

2 研修会の開催

・令和2年2月18・24日に等々力陸上競技場において、「第1回サポーター研修会」を開催。事前キャンプの全体概要、感染症対策に関する座学や施設視察を実施したほか、グループワークを行い、事前キャンプの課題について、様々な意見やアイデアが発表された。



GOGB! 川崎応援パートナー

- ・サポーター登録に至らなかったものの、「英国応援」に向けた取組への参加を希望した250名を「GOGB! 川崎応援パートナー」として登録。今後は事前キャンプ関連事業の情報や参加機会を提供する。
- ・令和2年2月9日にパートナー交流会を開催し、35名が参加した。



東京2020大会の開催延期に伴うBOA・BPAとの契約改訂について

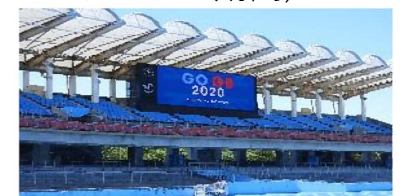
- ・東京2020大会が1年延期されたことに伴い、川崎市がBOA及びBPAとの間で契約した等々力陸上競技場の施設賃貸契約を改訂した。

○BOA事前キャンプ受入れ概要

- ・BOA事前キャンプ期間（当初）：令和2年7月10日(金)～8月5日(水)
(7月3日(金)～9日(木)：セットアップ期間)
- ・BOA事前キャンプ期間（改訂後）：令和3年7月8日(木)～8月5日(木)
(7月2日(金)～7日(水)：セットアップ期間)
- ・受入れ競技：陸上競技、サッカー、7人制ラグビー

○BPA事前キャンプ受入れ概要

- ・BPA事前キャンプ期間（当初）：令和2年8月15日(土)～9月2日(水)
(8月12日(水)～14日(金)：セットアップ期間)
- ・BPA事前キャンプ期間（改訂後）：令和3年8月14日(土)～9月2日(木)
(8月11日(水)～13日(金)：セットアップ期間)
- ・受入れ競技：陸上競技場



英国代表チーム川崎キャンプサポーター継続意向調査

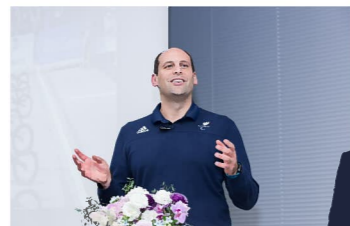
- ・事前キャンプの受入れが改めて確定したことや新型コロナウイルス感染症など社会状況の変化を踏まえ、英国代表チーム川崎キャンプサポーターの方々へ活動の継続意向調査を実施した。
- ・意向調査実施期間：令和2年9月7日(月)～25日(金)
- ・226名中（令和2年9月時点登録者数）15名辞退の申し出
- ・国の新型コロナウイルス感染症対策調整会議において、事前キャンプ受入れ自治体のマニュアル作成のための手引きを国が作成することとしており、10月には暫定版が示される予定。

BPAによる講演会

・令和元年12月5日に、英国パラリンピック委員会（BPA）スポーツ局長兼英国選手団長のペニー・ブリスコー氏及びパフォーマンスサービス責任者のトム・ポールソン博士による講演会「英国パラリンピック代表チーム 東京大会に向けて」を開催し、市内外から80名が参加した。



ペニー・ブリスコー氏



トム・ポールソン博士



聴講の様子

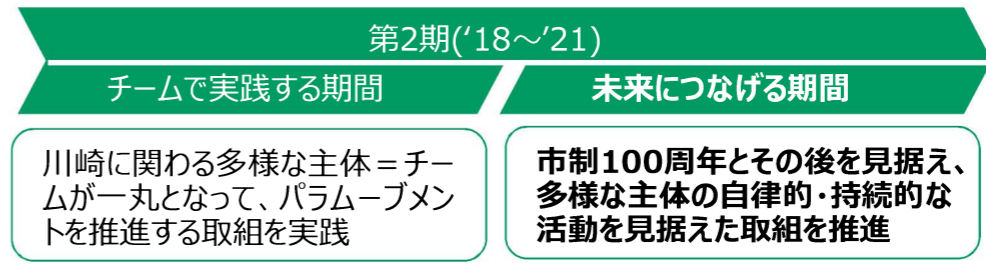


今後のスケジュール

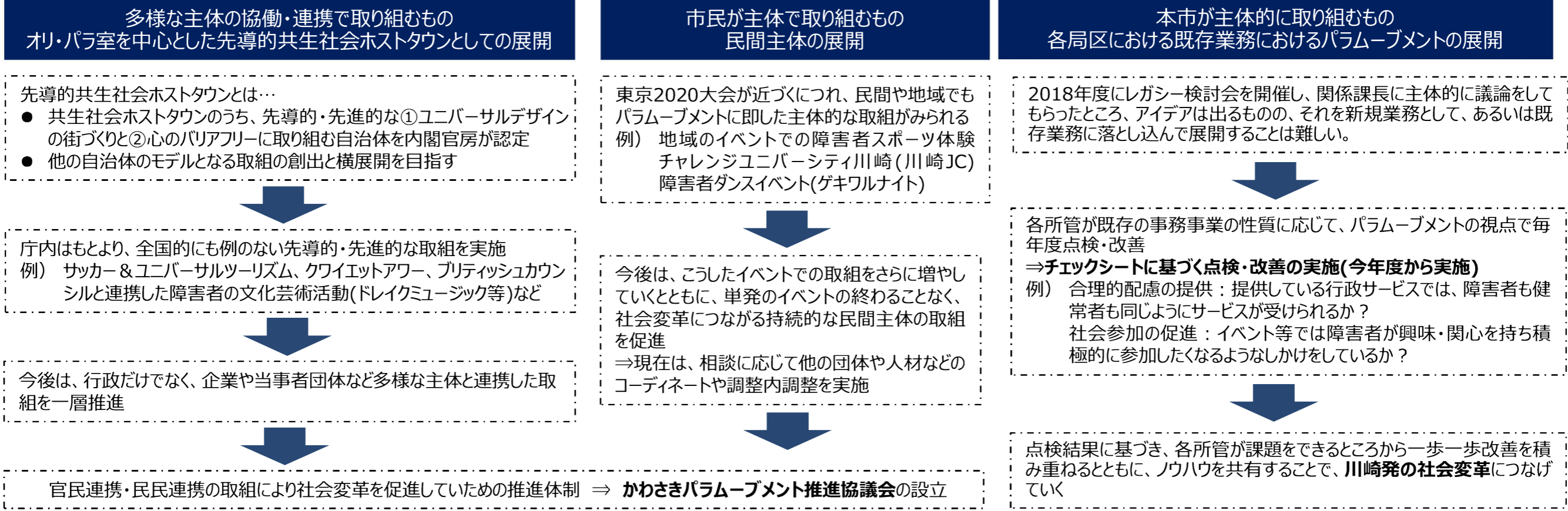
- ・令和2年10月～ 英国代表チームキャンプサポーター活動の再開
(サポーターの方々へ英国代表チームに向けた応援動画の制作・送付)
- ・令和2年12月 英国代表チームキャンプサポーターの活動グループ（BOA/BPA）分け
- ・令和3年 3月 BOA/BPAによる研修の実施及び活動グループリーダーの選定
- ・令和3年 5月 川崎市による第2回研修の実施
- ・令和3年 7月 BOA事前キャンプ
- ・令和3年 8月 BPA事前キャンプ



かわさきパラムーブメント推進協議会の設立について ~9つのレガシーの実現に向けて~

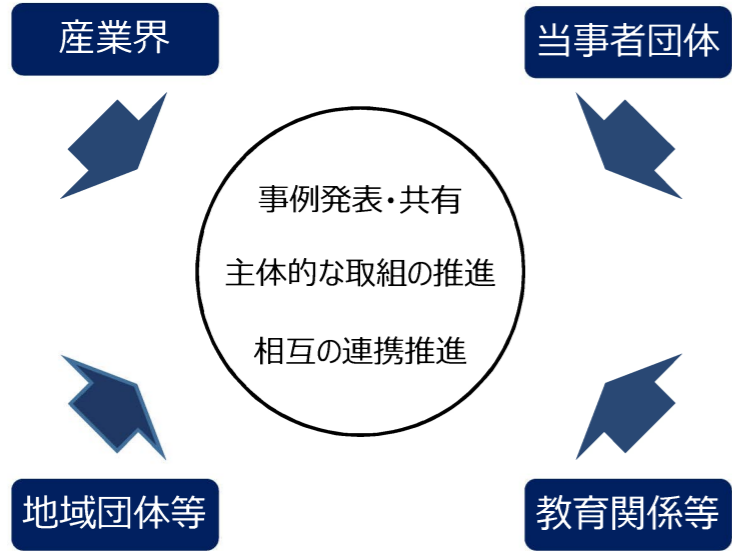


推進ビジョンに基づく取組主体別の現状



かわさきパラムーブメント推進協議会

かわさきパラムーブメントで目指す地域社会の構築に向けて、市内の各種団体等が「チームの一員」として、パラムーブメントの「目指すもの」と「理念」を共有するとともに、各種団体が主体的にレガシー形成に取り組んでいくための仕組みを構築する。



かわさきパラムーブメント推進フォーラム

- ・ 具体的な取組提案の提示
- ・ 委員と各団体とが連携した取組の推進

※協議会との関わり：先進的なフォーラムからの提案内容の紹介→実践へ

かわさきパラムーブメント議連

- ・ 地域での会合でのパラムーブメントのPRや、地域主体のパラスポーツ体験会、パラムーブメントや社会的マイノリティに関する勉強会開催の働きかけ
- ・ 支援者へのPR（各自の後援会報などで取組紹介）
- ・ 勉強会や視察の実施→実施したらSNS等で発信 など

※協議会との関係：議会の取組と地域の取組との車の両輪

<参考>

地域包括ケアシステム連絡協議会

- ・ かわさきパラムーブメントの目指すもの・理念・レガシーなどを構成メンバーで共有
- ・ 地域包括ケアの枠組みを活用した、地域での障害者のみまもり活動などの促進
- ・ 障害者の社会参加などに関する事例の高齢者への応用 など

※協議会との関わり：障害者・高齢者の垣根を超えた取組の相互連携



めざせ! やさしさ日本代表!
かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメント推進協議会の構成・活動内容等について

【協議会の構成・役割等】

(1) 参加対象及び参加条件

- ・市内に事業所・事務所を置く団体・教育機関等
- ・参加にあたっての費用負担はなし

(2) 協議会の所管事項

- ・共生社会の実現に向けた各団体の事例発表・共有
- ・主体的な取組の推進及び相互の連携推進

(3) 協議会の運営主体

- ・事務局は市（オリンピック・パラリンピック推進室）が担う。
- ・会長や副会長は置かず、業界ごとの幹事制とし、会員相互がフラットな関係で事例発表や連携の提案などを行う場とする。

(4) 活動資金

- ・本協議会を通じて各主体が連携した取組については、活動資金を提供する。
- ・財源は、企業・個人からの寄付を想定
- ・一定の基準のもとに審査して支出を決定

【構成団体と期待する取組のイメージ】

〈産業・経済界〉	〈地域団体等〉	〈福祉団体等〉	〈教育関係等〉※オブザーバー参加
<ul style="list-style-type: none"> ・川崎商工会議所 ・川崎市商店街連合会 ・セレサ川崎農業協同組合 ・川崎地域連合 ・川崎青年会議所 ・ロータリークラブ ・ライオンズクラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市全町内会連合会 ・川崎市老人クラブ連合会 ・川崎市観光協会 ・川崎市総合文化団体連絡会 ・(公財)川崎市スポーツ協会 ・川崎市障害者スポーツ協会 ・(公財)川崎市国際交流協会 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市社会福祉協議会 ・(公財)川崎市身体障害者協会 ・川崎市育成会 手をむすぶ親の会 ・(特非)川崎市精神保健福祉家族会連合会あやめ会 ・(特非)川崎市障害福祉施設事業協会 ・川崎市精神障害者地域生活推進連合会 ・LGBT系の団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校校長会 ・中学校校長会 ・高等学校校長会 ・幼稚園協会 ・川崎市PTA連絡協議会 ・私立学校(小・中・高) ・市内の各大学
<ul style="list-style-type: none"> ・会員を対象としたセミナー ・「パ」ステッカーの普及促進 ・障害者雇用 ・パラスポーツ・パラアートへの支援(協賛) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイノリティに関する勉強会の開催 ・先進事例視察 ・パラスポーツ観戦、パラアート鑑賞 ・パラスポーツ体験会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイノリティに関する勉強会の開催 ・パラスポーツ観戦、パラアート鑑賞 ・パラスポーツ・パラアートの体験 ・その他、可能性を広げるための各種取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育におけるパラムーブメントの理念浸透 ・パラスポーツ観戦、パラアート鑑賞 ・パラスポーツ体験会の開催

【展開イメージ】

